

ゆりだより

春日こども園
令和3年度 活動報告 NO1



【集団遊び】

クラス対抗でドッジボール対決をしました。互いに勝ったり、負けたりしていい勝負が続いていました。勝つためにはどうするのか、初めは保育者と子どもたちで考えていました。しかし、クラス対抗という意識が強くなり始めると、「クラスで話し合おう!」と意見が上がり、子どもたちが主体となって作戦会議をするようになりました。話し合いをすると様々な意見が出てきて、友達の考えに対して「あっそれいいね」と共感する様子が見られました。日々の勝負の姿を見ているとクラスの団結力が深まっているのを感じます。



【段ボール製作】

廊下では、段ボールを使って友達と一緒に製作を楽しんでいる子が多くいます。図鑑を見て「この船を作ろう!」と友達と作るものを見たり、友達が楽しそうに作っている姿に刺激され「一緒に作りたい!」と興味をもってかかわったりしています。自分の考えを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら、イメージを形にする面白さや作ったもので遊ぶ楽しさを感じているようです。

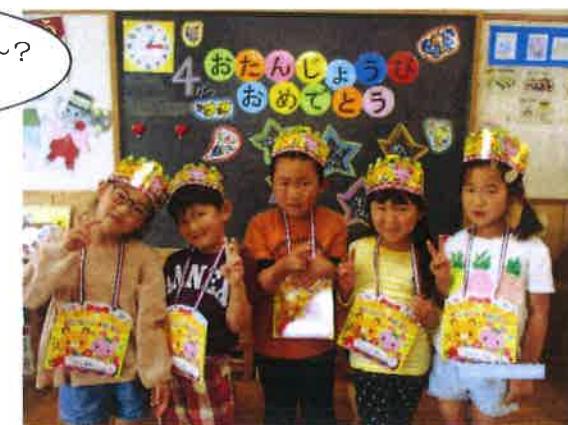
【母の日】

○似顔絵

似顔絵を描く前日に子どもたちに「お母さんの顔をよくみてきてね」と話しました。翌日、子どもたちに「どうだった?」と聞いてみると、「髪の毛は茶色だった」「日焼けもしてた」など様々な声が上がりました。肌の色や髪の毛の色は子どもたちと相談しながらいくつかの色を用意しました。お母さんの特徴を捉え一人ひとり個性のある似顔絵が完成しました。

○プレゼント

ボンドを使う経験をしながら木製アイススティックを組み合わせて「フォトフレーム」を作りました。お母さんのことを思い浮かべながら、色塗りや飾りつけもしました。普段、お母さんがしてくれることに気付いたり、感謝の気持ちを考えたりする機会となりました。



【カマキリ】

カマキリの赤ちゃんが生まれた日、子どもたちは大興奮でした。これは、昨年度卒園したゆり組さんから引き継いだものです。ケースから出てしまった小さな小さなカマキリをそ～っと捕まえてケースに入れてあげる子、図鑑で育て方を調べている子など…。世話の仕方が難しく亡くなってしましましたが、愛情をもって世話をすることで命の尊さにも気付くことができたと思います。

【4月誕生会】

『どっち? こっち?』という遊びをしました。誕生児が右か左のどちらに振り向くかを予想して、他の子は右か左に移動します。自分のいる方に誕生児が振り向いたら、成功の遊びです。「こっち～」に合わせて誕生児がどっちを振り向くか、後の子たちはワクワクしながら待っていました。誕生会では、誕生児が主役になる遊びをしていきます。